

韓国で「アフリカ豚熱」がまん延しています！

アフリカ豚熱は、平成30年8月の中国での発生以降、アジア諸国において感染が急速に拡大しています（国内で発生している「豚熱」とは別の疾病です）。

韓国でも、豚において本病が40例発生しています（令和元年9月～令和6年1月18日）また、野生いのししでも3,488事例で確認されており、本病まん延の一因となっています。

1月14日に釜山広域市で捕獲された野生いのししで、本病の感染が確認されました。このいのししの捕獲地点は、日本への航路があるフェリーのふ頭とも距離が近く、地理的に近い我が国への本病の侵入リスクが極めて高い状況にあると考えられます。

日本に本病が侵入するリスクが高まっていますので、衛生対策の励行、毎日の健康観察と異常の早期発見、早期通報をお願いします！



1月14日
アフリカ豚熱感染
野生いのしし
捕獲地点

アフリカ豚熱の症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、**死亡率は100%に近い。**

突然死やうずくまり



耳の紅斑

写真出典：USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

豚、いのしし飼養者の皆様へ

アフリカ豚熱には有効なワクチンはありません。

飼養衛生管理基準の遵守により、本病の侵入防止・発生予防に努めていただきますようお願いいたします。

毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報をお願いします。

アフリカ豚熱の侵入を防ぐためにできること

1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を動物が**食べる**と感染
- 不法持ち込まれた肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

持ち込み禁止



2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残り**、**ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレー**を**イノシシ**が**舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**で**アフリカ豚熱**が**まん延**し、**根絶**が困難に

野外放置禁止



3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴**についた**ウイルス**を介しても感染

